

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和6年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名：子ども・福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県聴覚障害者支援センター（津市桜橋二丁目131番地）
指定管理者の名称等	一般社団法人三重県聴覚障害者協会 会長 深川 誠子
指定の期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者等用の録画物、その他各種情報を記録した物の制作または貸出に関する事。 ・手話通訳者、要約筆記者及び盲ろう者通訳・介助員の養成または派遣に関する事。 ・情報支援機器の貸出、聴覚障がい者の生活等の相談など、地域生活の支援に関する事。 ・災害発生時における被災者支援に関する事。 ・センターの施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・その他センターの管理上必要と認める業務

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R5	R6	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B			機器の管理や点検を定期的に行うとともに、適切な施設管理を行っており、管理業務の実施状況は良好である。メール誤送信によるメールアドレス漏洩の事案が発生したが、対象者に向けた経緯説明を含めた迅速な対応や、情報管理についての職員向け研修の実施などに取り組んだ。
2 施設の利用状況	B	B			受付にヒアリンググループなどの機器を常備し、聴こえを支援する利用環境を整えている。また、関係団体の活動や交流の場として利用されており、利用者数は令和5年度より大幅に増加している。
3 成果目標及びその実績	B	B			<p>施設利用者数においては目標値 4,700 人に対し実績は 5,102 人となり、目標を達成できた。</p> <p>情報発信回数においては目標値 240 回に対し実績は 195 回となり、目標を達成できなかったものの、令和5年度実績（183 回）を上回っている。</p>

※「評価の項目」の県の評価：
 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「」（空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望に基づいてヒアリンググループ等聴こえを支援する機器を設置し、利用環境の整備を図っている。 ・ホームページやLINEを活用して聴覚障がい者に関する情報発信を積極的に行うとともに、遠隔手話通訳サービスの説明会・体験会を開催するなど、ICTを活用した遠隔手話相談・通訳体制を整え、利用促進に努めている。 ・例年開催しているセンターまつりについて、聴覚障がい関係団体等のブース出展により、聴覚障がい関連の取組の周知を行った。 ・施設利用者数については目標値 4,700 人に対し実績は 5,102 人となり、目標を大きく上回った。 ・情報発信回数については目標値 240 回に対し実績は 195 回となり、目標を達成できなかったものの、令和5年度実績（183 回）を上回っており、改善傾向にある。 <p style="text-align: center;">以上のことから、三重県聴覚障害者支援センターの指定管理者として概ね適切に管理・運営を行っている判断する。</p>
--------	---

<指定管理者の評価・報告書(令和6年度分)>

指定管理者の名称:一般社団法人三重県聴覚障害者協会

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1)管理業務の実施状況

①三重県聴覚障害者支援センター運営事業の実施に関する業務

- ・字幕映像ライブラリー貸出数は 216 本。その約5割は三重県立聾学校への出張貸出におけるものであるため、新たに作品を増やす際には、子ども向けのを優先的に選択した。また、センター内での貸出については手話学習者の利用もあるため、手話が挿入されている作品も積極的に増やした。制作については事業に関する啓発動画に取り組み動画サイトにアップロードを行った。
- ・意思疎通支援者及び盲ろう者通訳・介助員の派遣に必要な人材確保のため、手話通訳者養成研修、要約筆記者養成研修、盲ろう者通訳・介助員養成研修を開催し、それぞれ 18 名、5 名、5 名が受講した。
- ・意思疎通支援者及び盲ろう者通訳・介助員として登録している方を対象にスキルアップ研修を開催し、延べ 453 名が受講した。
- ・市町や障がい当事者団体等からの派遣要請に応じて、県に登録している手話通訳者等を派遣した。
- ・難聴者・中途失聴者を対象とした生活訓練として手話教室を、毎月 1 回開催した。
- ・情報支援機器の貸出が増加している中、貸出日や返却日の調整および必要なメンテナンス管理を適切に行いながら対応した。
- ・災害発生の際、早急に聴覚障がい者への支援活動を行うために必要な要支援者名簿を対象市町から受け取り、情報の管理および更新を行った。
- ・心のバリアフリー事業として、盲ろう者に対する理解促進を図るための動画を当事者団体の協力を得て作成、ホームページに 5 回アップロードした。また、センターまつりを四日市市緑地公園芝生広場で開催し、約 200 名の来場があった。
- ・災害支援サポーター養成講座では、講師に石川県聴覚障害者災害救援対策本部副本部長をお招きし、能登半島地震にてろう者がおかれた状況について知り、平常時から環境や体制を整備することの大切さを確認した。また、新規のサポーター登録者を 134 人得た。
- ・ICTを活用した遠隔手話通訳サービスの説明会・体験会を 2 回実施し、啓発を図った。
- ・DWA T 登録員研修に積極的に参加し、担当職員の資質向上・研鑽に努めた。

②施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

所有する機器の管理・点検を随時行った。また、経年劣化による備品の買替等、必要な措置を行った。

③県施策への配慮に関する業務

ア 人権尊重社会の実現

ICTを活用した遠隔テレビ電話システムを活用し、きこえない人の手話による相談等のやりとりが、きこえる人の音声通話と同等にできる環境を維持した。

イ 男女共同参画社会の実現

センター職員に女性を多く配置している。また、手話通訳者等においては女性が積極的に活動している。

ウ ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

センター入口に補助犬受け入れステッカーや手話マーク、筆談マーク、点字板見取り図を掲示し、受付には窓口用ヒアリンググループ、簡易筆談器及び助聴器、集音器を設置している。また、団体や企業からの聴覚障がい者への合理的配慮についての相談に応じ、聴覚障がい者支援機器の紹介や助言を行った。

エ 次世代育成支援の推進

県内の手話サークルへ出向き、盲ろう当事者との交流の場を設けることで、盲ろう者への理解を促すとともに、盲ろう者通訳・介助員を目指すきっかけとなるよう取り組んだ。

オ 環境保全活動の取組

コピー用紙の再生紙利用、グリーン購入や両面印刷等を行うとともに、部屋を使用しない際は消灯やエアコンを切ることを徹底するなど、環境保全活動に努めた。

④情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・「三重県聴覚障害者支援センターの管理に関する情報公開実施要領」及び「三重県聴覚障害者支援センターの管理に関する文書整理保存要領」を平成 24 年4月1日に制定している。令和6年度中の開示請求は0件であった。
- ・個人情報保護については、「三重県聴覚障害者支援センターの管理に関する基本協定書」第 11 条の「個人情報の保護」に関する事項を遵守するとともに、指定管理者である一般社団法人三重県聴覚障害者協会が平成 24 年4月1日に制定した「保有個人情報取扱規程」及び「三重県聴覚障害者支援センター個人情報保護実施要領」に基づき対応している。令和6年度は、メール誤送信によるメールアドレス漏洩の事案が1件発生した。

⑤その他の業務

該当なし

(2)施設の利用状況

	目標	実績
施設利用者数	4,700 人	5,102 人

2 利用料金の収入の実績

該当なし

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

	収入の部		支出の部		
	R5	R6		R5	R6
指定管理料	30,499,306	30,350,552	事業費	15,054,988	15,536,368
利用料金収入			管理費	15,529,155	14,659,479
その他の収入	71	4,201	その他の支出	0	0
合計 (a)	30,499,377	30,354,753	合計 (b)	30,584,143	30,195,847
収支差額(a)-(b)	△84,766	158,906			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数 4,700 人 ・字幕付映像等聴覚障がい者が受け取りやすい方法による情報発信回数 年 240 回以上
成果目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数 5,102 人 ・字幕付映像等聴覚障がい者が受け取りやすい方法による情報発信回数 年 195 回
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやLINE、センターだよりなどによる情報発信により、さらに多くの方々に三重県聴覚障害者支援センターを知ってもらい、幅広く利用をしてもらえよう努める。 ・多くの県民が集まる場においてイベントを計画し、センターが行なっている事業の啓発に努める。 ・月1回の手話による映像制作を行い、ホームページや動画サイトで積極的に発信していく。 ・より多くのきこえない人が、情報保障のあるイベント等に参加できるよう、引き続きイベント等のタイムリーな情報発信に努める。 ・字幕映像ライブラリー作品について、聴覚障がいのある子どもやその保護者、また手話学習者など利用が多い層を考慮したDVD作品を増加させることで、貸出数の増加に努めていく。 ・遠隔手話相談・遠隔手話通訳サービスがより使いやすくなるよう検討していく。

5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理や点検を定期的実施するとともに、必要な修繕を行っている。また備品の適切な維持管理を行っており、管理業務の実施状況は良好である。 ・メール誤送信によるメールアドレス漏洩の事案が1件発生したが、県と連携の上、対象者に向けて経緯説明を含めた対応を速やかに実施したほか、個人情報の取扱いに関する職員研修を実施した。
2 施設の利用状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの事業を実施するほか、関係団体の活動や交流の場として有効に活用してもらっている。 ・受付には窓口用ヒアリンググループや助聴器などを設置し、きこえにくい方々を支援する対応を行った。
3 成果目標及びその実績	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数は、令和5年度より1,046人増の5,102人となり、目標値4,700人を大きく上回った。 ・情報発信回数は、目標年240回以上に対し実績195回となり、目標値を達成できなかった。(81%)

※評価の項目「1」の評価：
「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 業務計画を順調に実施している。
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：
「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 当初の目標を達成している。
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none">・成果目標2項目のうち、成果目標を達成できたのは1項目であった。・施設利用者数は増加傾向にあり、実績が目標値を大きく上回った。・情報発信回数については、目標を達成できなかったものの、令和5年度実績（183回）を上回った。今後は、より多くの情報を多様な媒体から収集・整理することにより、より多くの情報を発信することができるよう努めていく。・ホームページの閲覧数が減少傾向にある。情報発信やセンター周知のためにも、手話動画を増やす等ホームページをより充実させ、閲覧を促進する必要がある。・遠隔手話相談・遠隔手話通訳サービスの普及啓発をさらに進める必要がある。イベントの場でブースを設けて体験してもらうことや、関係機関の協力を得て説明会を行うなど、積極的に進めていきたい。・意思疎通支援を担う新しい人材を養成する講座において、継続的かつ効果的な養成方法の検討が必須である。 今後、新しく意思疎通支援者として登録する人に向けた懇談会及び、技術の向上を含めた研修会等を計画していく。
--------	---